

# みなかみ

# 議会 だより

## 第10号

平成20年2月1日発行  
(2008年)

群馬県利根郡みなかみ町

平標山山小屋からの展望



**定例議会** (平成19年12月6~14日)

…2

**町政を問う 一般質問8人** 4

行財政改革  
特別委員会

**町公共施設統廃合 提言を提出** 13

**臨時議会** (平成20年1月17日)

…14

**議会の動き** 15

# 12月 定例議会

6日から14日までの9日間の会期で開催されました。  
 発議5件(うち委員会より1件)、専決処分報告2件、補正予算7件、  
 契約締結2件、条例改・制定14件、その他9件が提出されました。  
 審議の結果、発議1件を否決、他全ての議案を原案通り可決しま  
 した。  
 8人の議員が『教育環境』『医療福祉』『地域振興』『町財政』その  
 他町の課題等について一般質問をしました。



## このように決まりました。

### 議案

●町営六切土地改良事業  
 計画変更

●上越新幹線上毛高原駅  
 構内沢入橋耐震補強工  
 事委託契約の締結  
 (全会一致可決)

●町新治地区スクールバ  
 ス購入の請負契約の締  
 結

### 討論

●反対  
 原澤良輝議員

猿ヶ京小と須川小とい  
 う、町で一番立派な校舎  
 を廃校にして統合するの  
 は誤りです。

●賛成  
 阿部賢一議員

児童を安全に登下校さ  
 せるために、統合小が順  
 調に運営されるためにバ  
 スが必要です。

●反対  
 島崎栄一議員

小学校統廃合の住民ア

ンケートを実施していま  
 せん。行政主導の姿勢に  
 は賛成できません。

●賛成  
 河合幸雄議員

検討委員会において、  
 通学距離・料金について  
 結論が出ると思います。  
 ぜひ必要な事業と思いま  
 す。  
 (賛成多数可決)

●指定管理者の指定

◇農産物直売所・百姓茶  
 屋

◇特用林産物加工施設

◇月夜野農村環境改善セ  
 ンター

◇駐車場・大穴

◇猿ヶ温泉屋内運動場

◇湯宿温泉屋内運動場

◇永井宿郷土館  
 (すべて全会一致可決)

●町課設置条例の一部改  
 正

十九年度は、建設課と  
 都市計画課を合併しまし  
 た。一年程度で分けたり

合併したりすることには  
 違和感があります。

●賛成  
 林一彦議員

行政改革を実施する中  
 では、職員定数・業務の  
 見直しは必須です。  
 (賛成多数可決)

●町特別会計設置条例の  
 一部改正

●反対  
 穂苅清一議員

高齢者いじめの後期高  
 齢者医療制度に異議が出  
 ており、中止・凍結を求  
 める方向が正しいと考え  
 ます。

●賛成  
 小野章一議員

世代間や世代内の公平  
 性と、財政の健全化の観点  
 を踏まえた医療改革です。  
 (賛成多数可決)

●町後期高齢者医療に関  
 する条例

●反対  
 穂苅清一議員

保険医療に上限を付け

て制限され、暮らしも健  
 康も破壊してしまう制度  
 です。

●賛成  
 河合生博議員

県に設置された広域連  
 合が主体となり、高齢者  
 の医療制度が健全に運営  
 されます。  
 (賛成多数可決)

●町水道事業給水条例の  
 一部改正

●反対  
 穂苅清一議員

合併協定では、水道料  
 金は当分上げないことで  
 話し合いがありました。  
 約束は守る必要があると  
 思います。

●賛成  
 河合生博議員

水道事業は飲料水の供  
 給であり、また安全な水  
 が安定供給されるために、  
 水道料金の改定が不可欠  
 です。  
 (賛成多数可決)

## ●町立学校設置条例の一部改正

### 討 論

**反対** 島崎栄一議員

小学校の統廃合のような、重要で住民生活に影響の大きな案件は、住民アンケートで町民一人一人の意向を確認し決めるルールを確立すべきです。

**賛成** 阿部賢一議員

新治地区小学校統廃合に伴い、建設事業は議会にて承認した事業です。

**賛成** 林 一彦議員

学校設置条例に「新治小学校」の文言を入れ替えるものであり、新しい校舎も体育館も工事が終了し開校を迎えます。

**賛成** 林喜英雄議員

校舎・体育館とも期限内に完成し、保護者・地域の方々も開校に期待し

ています。限らない可能性を秘めた子供達のために教える育む場となります。(賛成多数可決)

●町学校給食センター条例の一部改正

**反対** 原澤良輝議員

学校の安全対策等をクリアしている校舎を、廃校し統合することに反対です。

**賛成** 河合幸雄議員

新治小学校統廃合に伴い、建設事業は議会にて承認した事業であり、賛成します。(賛成多数可決)

●利根沼田広域市町村圏振興整備組合の規約変更

(賛成多数可決)

●町職員の給与に関する条例の一部改正

●町職員の給与の特例に関する条例の廃止

●町議会議員の報酬及び

費用弁償等に関する条例

●町長、副町長の給与及び旅費に関する条例

●町職員の自己啓発等休業に関する条例

●町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

●町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

●町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全会一致可決)

## 専決処分報告

●町立(仮称)新治小学校校舎新築工事の請負変更契約締結

●町立(仮称)新治小学校体育館棟新築工事の請負変更契約締結

## 補正予算

◇一般会計

### 討 論

**反対** 原澤良輝議員

「町有地管理調査委員会」の検討もなく、新たに補正で温泉公園・矢瀬親水公園用地を購入することには反対です。

**賛成** 山田庄二議員

住民サービスが滞ることなく実施されるため必要な補正だと思います。(賛成多数可決)

◇老人保健特別会計 (賛成多数可決)

◇国民健康保険特別会計

◇介護保険特別会計

◇簡易水道事業特別会計

◇下水道事業特別会計

◇水道事業会計 (全会一致可決)

## 意見書

●道路特定財源の一般財源化反対に関する意見書

●中国人強制連行・同労働群馬事件に関する意見書

### 討 論

**反対** 穂苅清一議員

大型公共工事(道路)がここ何十年も優先に作られ続けている中で、見直しなくてはならないという世論があります。

**賛成** 鈴木 勲議員

新三国トンネル・国道二九一号線・玉原道路等、道路整備が進められるよう強く要望します。

**賛成**

中村 正議員

国は地方の事情を深く認識し、地方の道路整備促進による格差是正に努めるよう要望します。(賛成多数可決)

●中国人強制連行・同労働群馬事件に関する意見書 (賛成少数否決)

●難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現一を要望する意見書 (全会一致可決)

●公共施設を有効活用するための利用制限等の緩和を求める意見書 (賛成多数可決)

## 発議

(委員会)

●町公共施設統廃合に関する提言の提出

※関連記事13頁 (賛成多数可決)

8人が質問を行いました。

主な内容

- **林 一彦** ①福祉行政の取り組み……………5  
②地震緊急通報における町の取り組み
- **阿部 賢一** ①地域活性化支援……………6  
②シャトルバス運行
- **原澤 良輝** ①インフルエンザ予防接種の徹底と負担軽減……………7  
②新治統合小問題  
③スクールバスを無料で運行すること
- **高橋 市郎** ①成人式の開催日程……………8
- **島崎 栄一** ①家庭科実習室がないのに統合するのか……………9  
②小学校統合の前に  
住民投票かアンケートを実施すべきである
- **穂苅 清一** ①「消えた年金」問題と町の対応……………10  
②町有地（普通財産）管理の実態  
③町営住宅のあり方
- **前田 善成** ①町の具体的増収策、  
水道事業のこれからの展望と方向……………11
- **小野 章一** ①水上給食センターの今後の運営方針……………12

# 地震速報の効果的な伝達と 町あげた防災訓練の実施を

林 一彦 議員

町長 安全を守るのが町の使命



緊急告知用ラジオ



防災訓練放送の様子（協力：沼田エフエム放送）

**問** 十月一日より始まった気象庁の「一般向け緊急地震速報」を、防災無線または緊急告知ラジコ等で緊急告知できるように、また学校や職場など全町をあげた防災訓練を行なって下さい。

**答** 町長 地震や災害発生時には、町防災計画を基本に対応していきます。

緊急地震・災害情報の提供については、町民の対応や心得等を広報・ホームページに掲載し周知していきたい。町民の生命財産を守るため、災害訓練や緊急告知ラジコ、携帯の配信活用等について検討していきたいと思えます。

## ■福祉行政 町における今後の取組みは

**問** 大沢県知事表明の「子供の医療費十五歳まで無料化」や「いきいき子育てサポートプラン（総合的な少子化対策）」、障害者自立支援法

県単独措置継続などについて、また町民の関心の高いインフルエンザ予防接種の他町村との料金格差など、福祉行政に対する町長の考えをお聞かせ下さい。

**答** 町長 ◎医療費無料化の補助制度

平成二十年度から、入院を現行の十三歳未満から中学校卒業まで医療費を無料化し、通院は現行の十三歳未満までの無料化を継続していきます。

◎妊婦検診の公費負担拡大  
妊娠期間中の健診は、町の補助を現行の二回から五回程度に公費負担で実施し、母子の健康保持と少子化対策等に努めます。

◎障害児の送迎事業  
本町から県立様名養護学校沼田分校へ、十一人の子ども達が通学しており、保護者より要望の

あった送迎は、教育委員会と福祉施策で連携して検討中です。

◎麻疹予防接種の対象者拡大  
平成二十年度から現行の一歳及び五歳の幼児に加え、中学一年生及び高校三年生も対象にします。

◎インフルエンザ予防接種  
今のところ千円にすることは考えていません。

**問** 「行財政改革行動指針」でグループ制導入の少数化を謳っていますが、福祉に携わる職員は住民との触れ合いが多く、職員の負担が大きくなり過ぎないように、また住民サービスの低下にならないよう、職員と住民との間で混乱が起らないための話し合いを多く持つて欲しい。

**答** 町長 組織の改編等によってサービスの低下のないように、今まで以上に充実した福祉行政の推進を図ります。

阿部 賢一 議員

# シャトルバスの運行に さらなる改善策あるのでは

## 町長 地域と観光の連携を軸に存続を探る

**問** 路線バスの運行されて  
いない地域、また  
廃止された地域を優先す  
べきではないでしょうか。

**答** **観光商工課長** 観光  
客のみならず、町民  
の買い物にも配慮した経  
路を設定しました。

**問** 運行に対する補助金  
八〇〇万円の使途に  
ついては。

については、休止も含め  
て検討しています。

**答** **観光商工課長** チ  
ケット売上げ一三〇  
万円、歳入合計九三〇  
万円でした。歳出は一三  
八一万円で、四五一万円  
は観光まちづくり協会の  
負担となっています。

**問** 入須川地区では、遊  
神館があり過去に路  
線バスが運行されていま  
した。地域住民・観光客  
両方に利用される方法を  
検討すべきでは。

**問** 町民の方々にも宣伝  
し、もっと利用して  
もらえるようにしたら  
いかがでしょうか。

**答** **町長** 入須川地区に  
ついては路線の競合  
問題などがあり、路線が  
自由に引けない所があり  
ます。

**答** **観光商工課長** ポス  
ターや折り込み広告  
ホームページで紹介して  
います。町民には運行経  
路や運行間隔等の理由か  
ら、利用しづらい面も  
あつたようです。来年度

地域住民と観光との連  
携を図る中で存続できな  
いか、観光まちづくり協  
会にお願いしたいと思  
います。

■地域活性化支援  
**現在の状況と今後の考えは**  
本年（平成十九年）  
は実行委員会が組織  
され、水上地区「おいで  
祭り」、新治地区「猿ヶ京  
温泉まつり赤谷湖上花火  
大会」、月夜野地区では  
ホテルを守る会が主体と  
なり「ホテル鑑賞やホタ  
ル祭り」が、それぞれ盛  
大に開催されました。  
行政主導型ではなく、  
地域住民による地域のた  
めの地域興しであり、本  
物の活性化事業である  
と思います。地域の伝統  
ある祭り等も含め、今後  
どのような支援をしてい  
く考えがありますか。

を尊重すると共に、その  
活動を支援することが出  
来るものであり、予算の  
許す範囲で支援してい  
くこととなります。

**問** ホームページで祭り  
の紹介、機材の貸し  
出し、職員の派遣はど  
のような状況ですか。

**答** **総務課長** 要請の  
あつたものには対応  
しています。

**答** **町長** ホームページ  
は大いに活用して  
ください。

**問** 各地域の祭り・伝  
統文化も含めて、地  
域がさらに元気にな  
る取り組みには、し  
っかり後押しをして  
いただきます。

**答** 条例案は、町づく  
りを支え合う自主的  
なコミュニケーション  
の役割



水上方面・新治方面の2ルートで運行（案内ポスターより）

# 教育の公平を期すため スクールバスの無料運行を

原澤 良輝 議員

教育長 検討委で結論が出ず、引き続き検討中

**問** 教育を受ける権利は、等しく全ての児童生徒に保障されています。小中学校の遠距離通学は教育行政の責務です。学校からの距離によって、児童生徒（保護者）の負担が違うのは不公平です。学校教育は町だけでなく、国の未来に関わる重要な問題です。財政危機だからといって、教室や先生を減らせません。教育は最優先すべきです。等しく義務教育を受けられるように、スクールバスの無料運行を求めます。

**答** **教育長** 検討委員会  
の答申では、利用料をいただく場合の金額は結論が出ていませんでした。  
現在、町では答申を受けて有料・無料を含め、検討中です。



現在活躍中のスクールバス

■統合小学校の安全対策  
**校舎完工まで統合は見送るべき**

**問** 町の小学校のうち耐震基準に合格している立派な学校の廃校は、基本的に反対です。

しかし、四月に未完成の学校に入る予定の児童・三四人の家庭科実習や体育など教育への影響や、校舎工事現場の具体的安全対策を考え、学校施設が完成するまで統合の先送りを求めます。

**答** **教育長** 本年度に本校舎・体育館、二〇年度に食堂・家庭科教室、プール、施設の解体工事が予定されています。家庭科教室への配慮も十分した上で、工事業者、学校職員とも良く打ち合わせし、安全管理には万全を期します。

■インフルエンザ予防接種  
**自己負担額の軽減を求める**

**問** インフルエンザの流行が心配されています。予防接種を徹底すれば厳しい冬を元気に過ごせます。

六五歳以上の高齢者は六八〇〇人くらいで、接種者は約半数です。自己負担を千円に戻すことを求めます。

**答** **町長** 利根沼田医師会と接種料金一回四千円で契約を結び、半額を町が負担しています。利根沼田地域の他市村が、自己負担は千円であることから、町にも同額を望む声があります。同額にするると三四〇万円の増額になります。これは少子化対策等に使いたい。

高橋 市郎議員

# 成人式日程は再考すべき 年度初め開催は不合理では

町長 豪雪地に配慮、全町の取組みとして



昨年の成人式の様子（二点とも）

**問** 町の成人式が昨年度、四月の第一日曜に開催されました。今年度も同じ日程での開催が決定されています。なぜ年度初めの気ぜわしいこの日程なのかとの

意見を、当事者はもちろんのこと、その家族の方々等、多くの町民から聞いています。町民の声、特に若者の声に耳を傾けるべきと思いますが。

**答** 町長 合併して大きな町となり、同じ町内に大変な地域があれば、そこに住む人の事情を考慮して行うべきで、旧水上町で実施していた四月の第一日曜とし、区長会役員会・議会に報告をしました。その後、月夜野・新治地区の区長等から

「一月に開催してほしい」「四月は就職や年度初めで忙しい」さらに「成人者が主役なので該当者にアンケートを取っては」等の意見もありましたが、町としては、本年度も四月の第一日曜に開催することとし、七月の区長役員会、九月の議員全員協議会に報告をしました。

**答** 町長 年度初めの問題は聞いています。全国的にはGW・夏や秋に開催する所もあるそうです。

伝統行事として定着してきた四月に全町として取り組んでいこうということで、今回は決断し、開催しました。

**問** 若者の間で「KY」と言う言葉が使われているのを町長はご存知ですか。「空気を読めない」ということです。

若者の成人式に対する考え方をきちんと捉えるべきではないでしょうか。九月の議会全員協議会でも、多くの議員が「該当者にアンケートまたは意向調査を行うべきではないか」との意見でしたが、その考えはおありですか。

**問** 雪の多い地域の人々が町の一体感に繋がることは理解できます。

しかし、それでは専門学校や短大を卒業し、就職される人達への配慮はどう考えるのでしょうか。片手落ちではないですか。

**答** 町長 町がアンケートを取るという考え

はありません。議員が町民の情勢を聞いて、お互い議論し合うのが正しい姿だと思います。



# 家庭科実習室がないのに 統合するのか

島崎 栄一 議員

教育長 20年度より計画どおり開校、移動授業は良案



現校舎の解体と新校舎の建設が並行で進んでいる

**問** 四月に統合するとい  
う新治小学校には、

その時点で家庭科実習室  
がありません。まさか取  
り壊している途中の旧校  
舎の理科室に、家庭科の  
道具を運び込んで授業を  
するのでしょうか。

構造物は、在る形を前  
提に強度がある物で、削  
れば強度が無くなります。  
新巻小は来年度、さら

に取り壊して小さくなり  
ます。もともと耐震強度  
が足りなくて建て替えを  
しているのに、そこから  
さらに強度の落ちた校舎  
は危険です。

統合を一年先延ばしし  
て、校舎がしつかり完成  
してから統合するのが良  
いと、どうして教育長は  
提案しないのですか。

**答** **教育長** 統合小学校  
は、二十年度より計  
画どおり開校します。

家庭科室の問題は、専  
門家がやっていますから  
心配ありません。安全面  
には万全を期します。

**問** 削った旧校舎の耐震  
強度を、専門家に調  
査させたのですか。

**答** **教育長** 前の校舎で  
全体では行なってい  
ますが、部分的にはして  
いません。地震が来て潰  
れたら責任をとります。

**問** 責任をとつても、死  
んだ人は生き返りま  
せん。だから危険は避け  
たほうが良いのではない  
ですか。

スクールバスで移動し  
て、須川小・猿ヶ京小の  
家庭科室を使って授業を  
すれば、耐震強度もあり  
ますから安全です。

**答** **教育長** 大変良い考  
えだと思えます。検  
討したいと思えます。

## ■自治基本条例と小学校統廃合 決定前に住民アンケートをとるべき

**問** 広報みなかみ十一月  
号の自治基本条例の  
記事に「今までのまちづ  
くりは行政主導で行われ  
てきました。そこで町民  
が主体となり、活力ある  
みなかみ町を実現するた  
めに、基本条例を策定し  
ます」と書かれています。  
その通りです。

小学校の存続は、町民  
にとって重要です。しか  
し、住民や保護者のアン  
ケートが行われていませ  
ん。「町民が主体」である  
ならば、今からでも住民  
アンケートを実施すべき  
です。

**答** **町長** 今までの経過  
から、この時点でア  
ンケートを取ること何  
の意義があるのか分か  
りません。

議会制民主主義を遵守  
して、ルールに則って議  
事を進め、今日に至つて  
いると理解しています。

**問** 小学校統廃合のよう  
な重大問題は、議会  
制民主主義と言わず、ア  
ンケートを取るべきです。

町長の専権で出来るこ  
ともある。議会で決める  
こともある。しかし議会  
だけでは決められない重  
要な問題もあってい  
るのです。

穂 苅 清 一 議 員

# 年金記録の保存状況

## 町でも調査確認が必要では

**町長** 本人申し出のあったときに照合・確認

**問** 五〇〇〇万件の年金記録が宙に浮いていることは、大きな政治問題であり、「国が責任をもつて一人残らず一日も早く解決する」ことが求められています。

この件と関係の深い、町の手書き年金記録台帳の保存状況はどうなのでしょう。調査照合して該当者に通知することが必要ではないでしょうか。

旧新治村で二五〇〇人分が保存されており、旧月夜野町の分はありません（国の通知により処分）。

名簿は、国が照合確認を済ませ、国にある記録と同じものです。年金記録については、本人からの申出により照合確認をすでに行っています。

しかし、名簿の誰が該当者なのか不明であり、通知することは、混乱を招く恐れがあるため、考えていません。

**答** **町長** 年金問題が表面化してから、問合わせ対応やチラシの配布、相談窓口の開設等、国と連携し最大限努力してきました。

町で保存しているのは手書きの「国民年金被保険者名簿」（台帳）です。旧水上町で九六〇〇人分、



年金手帳と基礎年金番号通知書

■町有地の管理  
**合併後適正に行われているか**

**問** 町有地管理調査委員会が設置されましたが、三町村合併後の町有地管理は適正に行われたのでしょうか。

具体例で、水上地区東電PR館隣接地を、長い間、誰に使用させているのか伺いたい。

**答** **町長** 旧三町村から引継いだ財産台帳の

**答** **総合政策課長** 東電PR館隣接地は、今年一時使用の契約をし、資材置場として使用料も徴収しています。

討したい。

**問** 町営住宅は、健康で文化的な生活を営むうえで欠かせず、福祉行政上からも大切なものです。老朽化もあり、今後の町営住宅建設計画はどのような方針か、お聞きします。

**答** **町長** 現在、十一団地で四十八棟、五六九戸の管理を行っています。入居と退去のバランスが取られており、当面は建設計画を策定せず、既存住宅の再生計画を検討

**答** **町長** 一年以上の同居者継承は今後も認めていきます。「親の死後、子は住めず」というケースは、現状ではありませ

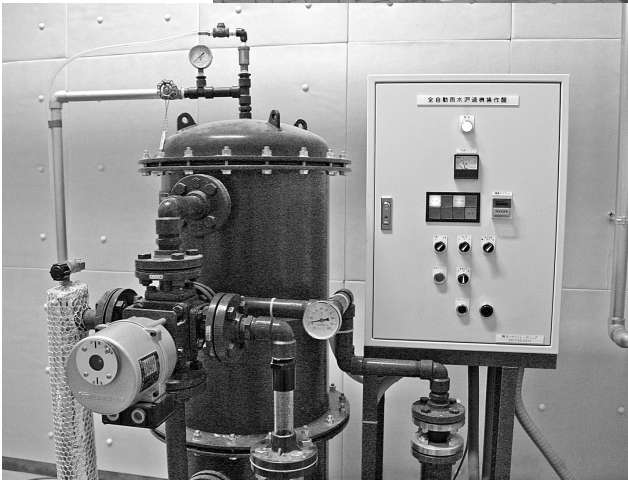
### ■町営住宅

#### 老朽化対策など今後の方針は

# 県事業の活用で オンリーワンの政策を

前田 善成 議員

町長 間伐材利用など検討、中水利用も必要は感じる



カルチャーセンターの雨水利用  
(上) 雨水は透水性舗装(黒い帯状の部分)を伝わり地下タンクへ集められる  
(下) 雨水ポンプと処理装置

**問** 町のブランドとして、町の商業価値は低く、また固定資産税を高く感じ転出を考える事業者も少なくありません。まして、国の政策である住民税の高騰まで町のせいだという声を聞く中、オンリーワンの政策で、商業価値を上げ地域に人や金を呼び込むため、県事業を活用した環境対策や省エネ事業の、全町一環の取り組みが必要です。また、ネットを活用した災害に強い町づくり、利根川源流の町に相応しい、中水・間伐材の利用

やバイオマスなど、分野の企業化を進めてください。石油より高い水を資源として、付加価値のある安心安全なものにするための事業形態の在り方についてお聞きしたい。

**答** 町長 利根川源流の町として、町のブランド戦略は、地球環境に優しい県認定事業なども活用して、間伐材の燃料化などを検討していきたくないと考えます。水源の町としては、水資源に乏しく施設の老朽化も激しいため、上下水道事業は六億二千万円を投入しないと成り立ちません。将来一五〇円にしても採算の取れない事業内容なので、先送りの悲劇にならないようにしたいと思えます。

**問** 県事業の補助金制度を活用するため、木質チップと家畜排泄物の利用を、資源リサイクルセンターに取り入れられたり町として中水利用を進め、下水道の処理費を軽減したりする考えはありますか。

**答** 町長 資源リサイクルセンターでの固形燃料化は、担当課を中心

に考えていますし、新エネルギーの活用も検討していきたいと思えます。また、水の再利用についても必要性は感じますが、検討したことがなく、実際に可能か課長に答弁させます。

**答** 農政課長 間伐材利用など、前向きに検討したい。

**答** 上下水道課長 中水利用の必要性は感じますが、現状は難しいです。

**問** 一般公告の照明システムと水道課の統合によるイメージの悪化や、水道事業に環境課の余剰金を利用されないように要望します。

※ 中水は雨水や生活排水などを下水道に流す前に処理を行い水洗トイレ等に再利用するという考え。[「上水と下水の間」という意味から来ている。

小野 章一 議員

# 水上給食センター

## 少子化で統合も可能では

**教育長** 能力的には可能、前向きに考えたい

センターの業務で給食が  
賄えれば、経済的にも財  
政的にも良いのではない  
かと思えます。

**問** 町長はこの問題をど  
のようにお考えです  
か。

判断で建設されました。  
合併にあたっては、旧  
水上にあったのは老朽化の  
ため新しい給食センター  
を造りたいという話も  
伺っています。

しかし少子化の進む中  
で、さらには月夜野・新  
治の新しい施設があるだ  
けに、何とか水上給食事  
業を補完できないか議論  
をしています。

**問** 昨今の少子化に伴う  
児童生徒の減少等か  
らすると、月夜野給食セ  
ンターで水上地区児童生  
徒分の給食を含めての対  
応も十分可能だと思いま  
すが、給食事業の今後に  
どのように対処されるの  
か伺います。

契約期間の問題、配送時  
間や保温等十分検討して、  
前向きに考えたいと思い  
ます。

**問** 水上給食センター予  
算は、平成十九年度、  
六八〇五万円余ですが、  
給食事業を移行すること

により大きな歳出削減と  
なりますが。

**答** **教育長** 冬期間の遠  
距離地域等の問題を  
含め検討し、月夜野給食

**答** **町長** 十年ほど前に  
旧三町村で給食事業  
の統合について話し合  
いましたが、残念ながら実  
現に至らず、町村個々の

**問** 現児童生徒数二四一  
〇人、十年後、仮に

一学年一五〇人としても  
約一八〇〇人となります  
が、このような実情を踏  
まえての町づくりは。

**答** **教育長** 水上給食セ  
ンターについては、  
昭和四十年に建設された  
施設であり、老朽化に伴  
う修繕費、調理方式での  
衛生面の心配等がありま  
す。

現在の食数については、  
月夜野給食センターでの  
処理能力からして、水上  
地区の給食を賄う事は可  
能な状況にあります。

調理業務については、  
民間業者に委託の関係上、



建設から 40 年を越えた水上給食センター

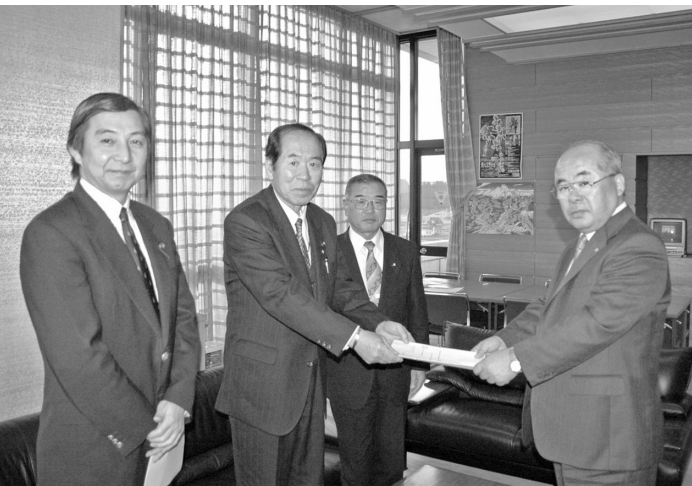
**答** **町長** 町は急激な少  
子化が進んでいます。  
今後、地域の存在感・価  
値観を訴えながら町づく  
りを進めていきたい。そ  
の中で少子化対策にも寄  
与できるものと思えます。  
施設等については、今  
ある施設を有効に活用し  
て行くのが賢明な策であ  
ると考えています。

# 行財政改革特別委員会

◇12月14日、町有施設の統廃合について速水一浩委員長が最終報告を行い、同日委員会発議として、提言を提出し可決しました。以下はその内容です。

なお、この提言は、町の決定ではなく議会としての意見であり、4月から施設が廃止されることはありません。

## 「今後5年を目途に、町直営の62施設について、指定管理者制度を導入するか統廃合すべき。」との提言を可決



提言を町長に手渡す

みなかみ町議会は、町の進める財政再建を加速するため、改選後の初議会において「行財政改革特別委員会」を設置し、一年半に涉り議論を重ねて参りました。その結果平成十九年度の町の当初予算が約一二八億円に対し、合併特例法の期限が切れる平成二十七年の当初予算を約九八億円にしなければならぬとの結論に達しました。

これは、「合併後十年間は、国が面倒を見るからその間に行財政改革を進めスリム化し、三町村を一つの町にしない。」という合併特例法により収入の三割以上を占める「地方交付税」が、平成二十七年には激減するためであります。

そのため、本特別委員会は、経常経費の大幅な削減が急務であると考え、人件費と補助費は、町が積極的に取り組み成果を上げていくので、物件費約二〇億円を削減するために調査・研究を進め、六二の町有施設について町に提言として示しました。

町有施設が、各地区の熱い要望から建設され、慣れ親しんだ施設であることは充分理解しますが、町の十年後を見据えての提言であります。未来ある子供達に恥じない町づくりをするためにも、町民の皆様にはご理解・ご協力を切にお願い申し上げます。

また、一部の報道により町民の皆様が誤解を招いている部分があるようなので以下に記します。

●この提言の議決は、町の決定事項ではありません。今後議会の提言を受けた町が、五年の間に決定し、議会に議決を求めます。したがって、今回提言に示された施設が、

四月から廃止されるようなことはありません。

●この提言で「廃止すべき」と謳った施設でも、各地区の熱い要望から建設された施設であること

を充分理解し、ただ「廃止すべき」と言っているのではなく、「指定管理者制度を活用し、民間活力により生き返らせて欲しい。」との内容になっています。

●なぜ議決をしたのかという点、まず町に対し議会としての姿勢を示すためであり、改革を進めるためには個々の議員の理解と行動、さらには、責任が必要だからです。

●議決の際に六人の反対者がいましたが、そのほとんどの議員が、総論では賛成であり、各論の部分で施設の固有名詞が挙

がっているために反対とすることでした。

### 討論

#### 反対

穂苅清一議員

町営住宅、火葬場、スキー場など全員協議会でいろいろ議論がありました。議会で議決すべきでなく、拙速です。

#### 賛成

根津公安議員

行革委員会が砂を噛む思いで提出した内容です。中身については現実性・実情にそぐわない点もありますが、個々の対応は、町と時間をかけて整合性をとるべきです。

#### 賛成

本多秀律議員

人口の減少、財政など、町を取り巻く環境は厳しいです。住民要求の変化に応じたサービスをするため、統廃合を含めた施設の在り方を検討する必要があります。

# 1月臨時議会

## 議案

平成20年1月17日

●町本庁舎改造工事の請負契約

### — 討 論 —

**反対** 島崎栄一議員

指名資格のある町内の業者が入っており、指名を外す理由も分かりません。

**賛成** 河合幸雄議員

町村合併に伴う本庁舎改造で合併特例債を財源とするものであり、効率の良い事務執行のためにも早急に実施すべきです。

**反対** 原澤良輝議員

築二十五年は他町村と

比較しても新しい庁舎であり、財源があるならば財政再建の方に使っていくべきと考えます。  
(賛成多数可決)

●十九年度補正予算

◇一般会計

### — 討 論 —

**賛成** 原澤良輝議員

障害児の送迎費用が含まれていることや、また灯油の助成は該当者への周知徹底を要望し賛成します。  
(全会一致可決)

◇水道事業特別会計

(全会一致可決)

## みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件 名	提 出 者	付託委員会	審議結果
請願	10 19. 8.23 (継続審査分)	「憲法九条を守る」決議について	憲法改悪反対利根沼田共同センター 代表 小林一義	総務文教	不採択
	11 19.11.22	難病長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現を求める	群馬県難病団体連絡協議会長 洪澤東三夫 月夜野3281-7 岸 貞夫	厚生	採 択
	12 19.11.26	J R水上駅前に駐車場の早期整備を求める	鹿野沢167 鹿野沢区長 山口英一 他3人	産業観光	採 択
	13 19.11.26	(仮称)みなかみ町防犯協会設立について	湯原670 水上防犯協力会長 中島市郎 猿ヶ京温泉1166-3 三国防犯協力会長 田村 章 他賛同者48人	総務文教	採 択
	14 19.11.26	後期高齢者医療保険制度の中止・撤回を求める	前橋市上小出町2-36-1 群馬県社会保障推進協議会 代表 野上恭道	厚生	趣旨採択
	15 19.11.26	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を求める	前橋市樋越町183-4 全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 関口昭三 他1人	厚生	趣旨採択

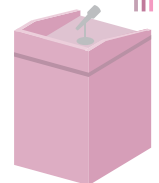
### 議会だより編集委員会

- ◆委員長 河合 幸雄
- ◆副委員長 森下 直
- ◆委員 林 一彦 原澤 良輝
- 島崎 栄一 本多 秀律

### 議会を傍聴してみませんか？

◆3月の定例会は、  
6～14日を予定しております。

—お問い合わせは— 議会事務局まで  
☎ 62-2111(内線 611)



# 議会の動き

\*平成19年10月～平成20年1月

10月	1(月)	みなかみ町ゲートボール協会秋季大会
	2(火)	新三国トンネル開削促進期成同盟総会(湯沢町)
	3(水)	利根地方開発協会県への陳情(群馬県庁)
	4(木)	利根沼田招魂祭 議会だより編集委員会
	5(金)	みなかみ町平和式典
	7(日)	谷川岳慰霊祭
	10(水)	住民基本自治条例審議会
	11(木)	郡町村内ゴルフ交流会
	12(金)	全員協議会・行財政改革検討委員会
	14(日)	第2回町民運動会
	15(月)	広域圏定例議長会
	16(火)	議会だより編集委員会
	17(水)	利根郡公立幼稚園連絡協議会総会
	18(木)	県議長会研修会
	19(金)	藤原ダム50周年・八木沢ダム40周年記念式典
	22(月)	広域圏協議会
	23(火)	水道会計検討委員会 利根郡町村正副議長、正副常任委員長、 事務局長研修会
	25(木)	月例監査
	26(金)	第52回群馬県更生保護大会
	27(土)	防火ポスター表彰式
	28(日)	豊楽まつり
	29(月)	第1回町有地管理調査委員会
	30(火)	町村議員全員研修会
	31(水)	上毛新聞社120年記念式典

11月	2(金)	埼玉県伊那町との交流協定立会
	3(土)	町文化祭
	4(日)	湯沢町とのゴルフ交流会
	5(月)	第2回町有地管理調査委員会
	7(水)	議会全員協議会
	9(金)	議会広報研修会
	11(日)	新治農業祭
	13(火)	年金制度創設に関する懇談
	14(水)	広域圏定例協議会 第4回住民基本自治条例策定委員会
	16(金)	老人クラブ新治支部芸能大会
	17(土)	第2回みなかみ町駅伝大会 利根商まつり
	18(日)	福祉ふれあいフェスティバル 町囲碁将棋大会 ばか面踊り発表会
	19(月)	議会視察研修(～21日、滋賀県)
	22(木)	桃野小学校創立百周年記念式典
	24(土)	全国地芝居サミットぐんま
	26(月)	学校組合議会 広域圏組合議会 総合計画策定審議会
	27(火)	議会運営委員会
	28(水)	厚生常任委員会・産業観光常任委員会現地視察 総務常任委員会
	29(木)	行財政特別委員会

11月	30(金)	第51回町村議会議長全国大会(東京NHKホール) 町自治基本条例策定委員会
	1(土)	天神平スキー場安全祈願祭 新三国トンネル視察佐田玄一郎衆議院議員同行
	2(日)	若栗幼稚園発表会
	3(月)	町公共施設統廃合等検討委員会
	4(火)	町章・町花等選考委員会
	6(木)	第6回みなかみ町議会12月定例会(開会日)
	7(金)	第6回みなかみ町議会12月定例会(一般質問)
	10(月)	各常任委員会 武尊山観光安全祈願祭 第12回群馬県家畜共進会名誉受賞祝賀会 第9回全国和牛能力共進会成績報告会
	11(火)	行財政改革特別委員会
	13(木)	一般国道291号整備促進期成同盟設立準備会 みなかみ町障害者週間のつどい
12月	14(金)	第6回みなかみ町議会12月定例会(閉会日)
	18(火)	土地開発公社議 町自治基本条例策定委員会
	19(水)	水上高原スキー場安全祈願祭 温泉審議会
	20(木)	ノルンスキー場安全祈願祭
	21(金)	みなかみ祭り実行委員会
	22(土)	赤沢スキー場安全祈願祭
	28(金)	仕事納め

1月	1(火)	元旦
	4(金)	仕事始め
	6(日)	町消防団出初式
	8(火)	群馬県議会新年交歓会 上毛新聞社新年交歓会
	9(水)	利根沼田農業協同組合新年祝賀会
	10(木)	議会だより編集委員会 第8回みなかみ町自治基本条例策定委員会
	13(日)	群馬県小学校体育大会スキー大会
	15(火)	広域圏定例協議会
	16(水)	市町村トップセミナー
	17(木)	議会運営委員会 全員協議会 第7回みなかみ町議会1月臨時会 みなかみ町新年賀詞交歓会
	18(金)	議会だより編集委員会 町ゲートボール協会総会 西部防火協会新年会
	20(日)	猿ヶ京区新年会
	22(火)	高齢者等支援ネットワーク設立総会
	23(水)	FM-OZE賀詞交歓会 町婦人会新年会
	25(金)	利根地方総合開発協会大会
	26(土)	上毛新聞社旗争奪戦選手権ゲートボール大会
	27(日)	水上小中学校建設基本設計コンペ選定委員会
	28(月)	総合計画審議会
	29(火)	町公共施設統廃合等検討委員会



# 観光まちづくり協会が動き始めます

みなかみ町観光まちづくり協会  
会長 岩田照文 (須川)



**旅館業受難の時・動く人がかわる**

海外渡航者が年間約二千万人、一人が四泊すると、全体での海外宿泊数は八千万泊になります。この状態で、国内宿泊業が以前と同じであり得るはずがありません。

だから、第一に、海外からの観光客の拡大、第二に、子供たちを対象とした教育旅行等の活性化、第三に、交流と称して、特定の地域間移動人口を増やしていくこととするのです。

これらの方策はすべて理にかなったものですが、これらの方策が実践されたとしても、移動する人旅人が変わるということから、地域間の競争が激化し、競争に負けた地域は、地域ぐるみで衰退していく恐れがあります。

**変化と振興への布石を打つ時季**

第一に、海外からの観光客は東京や京都等を中心とした都市観光客になる。

第二に、国内の子供の行く先は自然・農業・林業等を体験できる環境教育や生命の営みを観察できる、移動の簡単な地域へと流れる。

第三に、地域間交流というのは、行政が主張している間は、民間の経済活動に結びつかない。そう考えると、みなかみ町は変わっていかねばならないはずで、主たる産業として観光以外に特段のものがなく、町長の「町ぐるみの観光振興」宣言（観光を突破口として地域の振興を実現したいという考え）にも関わらず、観光の町として動けない行政、過去を振り返りがちの観光業という、無気力な雰囲気を感じさせられるのほなせでしょうか？無目標だから？

地域経営の難しい時代です。このまま行けば、将来はもっと難しくなります。今は、行政・産業・一事業主ともに、来るべきマーケティング環境の

変化に対処すべく、振興の布石を打つ時です。**協会のこれからの事業・役割**

観光まちづくり協会二十年度の事業計画では、宿泊業をはじめとした観光事業者を企業として考え、一軒一軒、一人ひとりが目標を持ち、頑張るみなかみ町を目指します。

①「計画的で効果的な情報発信」事業推進。みなかみ町・水源の町・温泉・豊かな森山川・豊かな果樹の認知向上を目的とする。

②協会自体の自立性を向上させていきます。（法人格、会費収入・会員増等）

③発信すべき情報の内容としての祭りその他のイベント、催事の充実

④新しいアウトドアースポーツの導入促進と安

全性強化

⑤観光異業種（農・宿・商・アウトドア）の連携

強化と総合的な情報発信

⑥小規模旅館の経営革新

⑦地域の観光イベントや事業の支援

⑧星の降る里づくり事業、花街道づくり事業、風を切って走るまちづくり事業

等々、多くの事業が積極的に動き始めます。具体的な内容については、協会にお問い合わせください。

現在の観光まちづくり協会

(左) 外観 (右) 内部



今年もみなかみ町を迎えました。平成二十年もみなかみ町でありました。心よりご祈念申し上げます。

昨年に行財政改革の提言を提出しましたが、委員会では行政の運営についてより良い意見もあり、まだ検討中の段階です。誤解のないよう御理解のほどよろしくお願い致します。

また、行政と観光、農業に関しては長期計画を考えており、役場の職員も頑張つて条例作成に取り組んでいただいています。

今年もみなかみ町が住みよい町になるように頑張つていきたいと思っております。

河合幸雄